

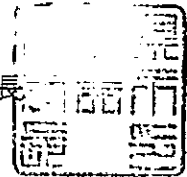


20香美建第/849号

平成20年10月20日

国土交通省道路局長 様

高知県 香 美 市 長



今後の道路行政についての意見・提案の提出について

時下、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は香美市の道路行政に対し、格別のご支援ご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、平成20年9月19日付け、国道企第37号で依頼のありました、今後の道路行政についての意見・提案の提出について、別紙のとおり提出しますのでよろしくお取り計らいください。

① 道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

— 費用対効果では測れない「命の道」整備 —

人命に関連する救急車・消防自動車等の緊急自動車の通行できない道路整備。また、災害発生時に迂回路が無く孤立化を解消するための道路整備が急務と考える。

近年の緊急車両は大型化が進んでおり、日常生活において急病人や火災が発生しても、緊急車両が進入できない、タクシーすら入ってくれない道路が現在もなお多くある。住民の不安を解消するには、道路拡幅が必要である。また、中山間地を中心に生活路線が一本しかなく、災害が発生すれば孤立する集落が多いが、道路のネットワーク化を図ってこれらを解消し、住民の生活の安心と安全を確保しなければならない。

— 効率化を進める上で重視すべきこと —

道路新設改良に関して、国の制度では何種何級など一律の基準で運用される場合があるが、地方の中山間地では1.5車線の整備で十分な地域もあり、地域の実情に合った制度の新設または制度の運用を願いたい。また、効率化ばかりを前面に出すと、B/Cの基準に満たない地方の道路は整備が出来ない。人材・物資等都市を支えている地方の価値を、評価の対象に加えるべきと考える。

— 地方の道路整備予算の確保について —

地方の経済、生活等を支えているのは道路である。

今後、さらに広がる都市部との地域間格差など、地方の経済状況はいまだ停滞し続けており、地方経済の活性化を図るためには、地方と都市、地域と地域を結ぶアクセス道の整備や企業誘致など新しい産業等を興すことが重要課題であり、地方の道路整備は必要不可欠である。

このことから、地方の予算配分枠については、地方が今おかれている経済状況等を正確に把握のうえ実行していただきたい。

② -1 地域の現状と抱える課題

○現状 市道の改良率は40%未満で、狭隘な道路が多い。また、市街地では鉄道を渡る道路を含めて、幅員の狭い南北道路が多い。 市街地・中山間部を問わず緊急車両の通行困難な道路があり、特に山間部では災害時に孤立が懸念される集落もある。 市域を縦貫する幹線道路として国道195号があるが、物部川を挟んだ対岸の県道は2車線の改良区間がほとんど無く、対向車同士のすれ違いの困難な箇所が多く見られ、国道195号が災害等で寸断した場合は大型車の迂回路が無い。 また、国道195号は朝夕のラッシュ時には交通渋滞が見られる。 中山間地の県道は、舗装はされているが、軽四輪自動車でも行き違いできない区間が多く残されている。 幹線道路として都市計画決定を受けているが、着手できていない。	○課題 市街地では、安全な歩道の確保やユニバーサルデザイン化、鉄道の南北を結ぶ狭隘な道路拡幅整備。 中山間部では、高齢化が進むなか、狭隘で急勾配な道路改良など、安心できる生活環境の確保や災害対策を重視した道路のネットワーク整備が遅れている。 都市計画決定を受けている予定路線・新町西町線のB/Cが採択基準に達していないため、補助金が受けられない。幅員減少・事業費の圧縮等の変更および、都市計画決定の変更が必要。
--	---

② -2 地域の目指すべき将来像

地方経済の活性化及び住民生活の安定化等を図るには、地域間を円滑に結ぶ交流ネットワークを確保するため、都市計画道路や市道等の整備を行い、国道と県道に繋がるアクセス道路整備の確立を総合的に推進する。

市街地では、ユニバーサルデザイン化や景観づくりの観点から、狭隘な道路や歩車共存道路の整備、個性あるみちづくり等、地域の実情やまちづくりの方向に沿った整備を目指す。

中山間部では、狭隘で急勾配などにより緊急車両の通行が困難な路線や災害発生時に孤立する集落を回避するために、災害等に強い道路整備を目指す。

国道195号は本市を一体的に結ぶ広域交流軸であり、災害発生・緊急時における重要路線として2次改良を促進する。

県道は市内周辺地域との連携や、災害時の対応を想定したネットワーク軸として整備改良を促進する。

今後の道路行政についての意見・提案

様式④

③ 道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・国道195号の二次改良の促進	○代表事例 都市計画道路・高知山田線の整備 (平成20年代半ば全線開通予定) 部分改良ではあるが、整備区間の通行量が増加している。 国道195号は合併した本市を縦貫する路線で、市街地から北東に向けて、10余年前から改良予定地の約二万㎡を道路用地として市が確保している。また、同予定線上の物部川には既に2車線の橋も架かっている。合併支援道路として早期着工が必要。	○期待する効果や評価等 ・渋滞の解消 ・通勤・物流等の時間短縮 ・快適な走行 現国道195号の交通渋滞が緩和され、時間短縮にも繋がっている。 ・ 渋滞の解消 ・ 通勤・物流等の時間短縮 ・ 災害時の迂回路	
・県道龍河洞公園線の整備	道路拡幅	日本三大鍾乳洞の一つである龍河洞、アンパンマンミュージアムなど観光地のネットワーク化や工業団地・高知テクノパーク等へのアクセス道 ・観光サービスの向上 ・企業誘致の推進 ・地域雇用の促進 ・地域経済の活性化	